

バリュー・アクション作成グループ

第1回ミーティング記録

日本バプテスト女性連合

【日時】：2024年10月5日（土）10：00～12：05

【出席】：実行委員：大島玲子、佐藤幸子、城前恭子 ユース：秋山愛、広木愛

検討チーム：泉美智子、吉高路

役員：加藤泉、本多依子、友納薫、児玉佐代子（書記）

幹事：米本裕見子

【欠席】：中條邦子

（敬称略、以下同）

お祈り・挨拶（会長）

ファシリテーター（幹事）

* チェックイン （10：00～10：35）

「自己紹介&今の気持ち」

* 「対話」について～大切にしたいこと～（PPT 参照）

- ① 自他の違いを尊重し対話を楽しむ
- ② 最後まで相手の話を注意深く聞く
- ③ 自分の言葉で話す
- ④ 冷静に話し、冷静に聞く
- ⑤ 対等の立場で（さん付け）
- ⑥ 参加者のプライバシーを尊重する

A.バリュー・アクション作成グループの概要 （10：35～10：45）

- ・バリュー・アクショングループの定義→検討チームから派生したグループ
提案は検討チームに持ち帰り確認→実行委員会（役員会）→2025年度総会議案
組織図（PPT 参照）
期間：2024年10月～2025年3月
- ・検討チームの期間：来年度まで
- ・役員会・検討チームで検討してきたこと
ビジョン・ミッション（案）作成
規約の変更（2024年度総会議案提案）→多数決の定義、保留の扱い
世界伝道について→女性連合が世界伝道を活動の柱として推進することの確認
性差別に基づく構造的課題を見直し、連盟理事会で謝罪の意を表明

B.これまでービジョン・ミッション（案）完成まで (11:00～11:05)

ビジョン：(将来的理想像)

すべての命が尊ばれる世界を目指して、
互いに助け合うものとしてともに生きる

ミッション：(活動指針・存在意義)

イエス・キリストと出会ったわたしたちは
神の愛をわかちあい
すべてのいのちを慈しみ
平和を実現する者となります

C.バリューを考えるー発散ー (11:05～11:45)

*ビジョン・ミッションを目指して、何を大切にして活動していくか。(価値観)

バリュー (大切にしたい価値観) 共通性ーイエス 信仰

聖書の言葉

キーワード→単語、文章

平和 日本を含む全世界

女性 ジェンダー 子ども マイノリティ 「女性」を掲げている 気づき

伝道→分かち合い 宣教 協力 協会

キリスト教基盤

命の尊厳・人間の尊厳 INCLUSIVE

エンパワーメント 沖縄 草の根 こひつじ 希望～

*メンバーシップ

パートナー

意見

☆ バリューは大切にしたい価値観。私たちの軸になるのは神さまの愛、イエス様と知り合ったことだと思うが、大切にしたい価値観があっても、今現状目の前にある課題がある。ギャップを埋めるのがアクションになるのか。PPTのロードマップ：望ましい未来に向けてのバックキャスト、現在の延長線上に見えてしまうフォーキャスト。この両矢印を埋めるに必要なアクションを考えていかななくてはいけないのでは。財政・会員減少と言う現実を埋めるアクションとは何なのだろう。今やっている事が出来なくなる事を思うときに、出来るアクションを考えなくてはならない。そのためにバリューをどうするか。

☆ ハンドブック 4 頁の「私たちの約束」に当たる部分がバリューに相当するもので、アクションが 6 頁から 11 頁の活動と考えていた。バリューを考えることは難しい。順番通りではなく、アクションを決めてその中からバリューを決める方向が良いのか、バリュー・アクションを一緒に決めて考えていけば良いのか。財政的なこと等を考える中で、アクションが皆さんの頭の中で少し具体的になっているのであれば、それを分かち合う中でそこからバリューに行っても良いのではないかと感じる。

☆ 女性連合という「女性」を掲げている。女性と言うことを考えていく事は一つの大きな課題。連盟との構造的ジェンダー不平等への気づき。ビジョンの「互いに助け合うもの」としてともに生きる」とあるが、対等なパートナーとして女性がしっかりと立って、これからの歩みを前に出して行ければと考える。

(幹事) LGBTQ の方も含め、女性もある意味抑えられてきたと言う意味ではマイノリティである。これは人間の尊厳、人権に通じるところかなと思う。

(会長) 必ずしもバリューを決めてからアクションを決めていなくても良いと言う竹之内さんのお話だった。方法も私たちが選べるのかなとおもう。

(幹事) これはこういうアクションにつながりますねと言う話をやっても良いかもしれないです。ずっと言ってきたことだが、メンバーシップを考えなければいけないと思う。女性会、壮年会ではなく、活動のテーマで集まっているという教会が増えている中で、女性たちが安心してつながり恵みを味わえる所がまだ必要。マイノリティも含め私たちが安心して場となったときに、メンバーシップをどうするかを今後規約など考えていくときに必要になるのではないかと。(正会員、賛助会員の形を作るかなど気にとめて記録していきたい)

☆ 「北関東のひろば」で活動の方向性として、女性とかの 카테고리ではなく、活動を中心とした形になっていくと言う流れなのかなとの感想があり、ただそう言ったからと言って、ジェンダーなどの事が本当に解決されるのだろうか。活動で作られる中に、役割分担、ジェンダー差別、パワーバランス (ハラスメント) という行動が、やはりまだこの社会の中では持ち込まれてしまうのではないかと心配している声、女性会を解消したからジェンダー平等になりましたと言うわけではないと言う意見があった。とても共感した。「女性」を掲げていくと言う中に、女性というのは狭いカテゴリーではなく、「すべてのいのち」と言うところにあって、バリューの中に「多様性」と言う言葉も入れると良いのではと思った。開かれた多様な存在としての女性。一人一人が尊重される意味での女性を発信して言ったら良いのかなと思った。

(幹事) こういうことを深く話し合っていく場になると良いと思う。そこから積み上がって外せない大事なものがあがるとよいと思う。現実、財政のこと等があるが、今は理想になるかもしれないが、大切に選り取ったその後、やり方、方法は次のグループの運営の仕方になっていくのかなと思う。

☆ マイノリティであった女性の立場から、色々視点を持って多様性を考えると言う中で、今この枠を男女平等と言われたときに、やはりパワーは男性に行くのではないか。女性だからひとまず集まれる。お互い力をつけて、ある意味その枠を広げていき男性も女性もなくなっていくということになるのかなと思った。沖縄のことをみても、沖縄の人たちが草の根でやっている事、彼らがエンパワーメントしながらの希望を私たちがいただいている事とか、小羊も子どもたちをエンパワーメントして育て、それぞれの場所に送り出すと言うことがすでにされている働きなのではないかと言うこと。言葉化する事でそれがバリューになるかわからないが、自分たちはこれで集まっている。

(幹事) アクションの中にバリューを見いだしているという言葉だったかなと感じた。エンパワーメントをずっと考えてきた。私たちがつながる、世界とつながる中につなげる喜びも大事だが世界祈祷週間、世界伝道の先には、女性たちの気づきとエンパワーメントがあったのではないか。世界祈祷週間の目標額を掲げてやってきて、その中ではっきりとした言葉にはなっていなかったが、それをバリューとして言葉になり、アクションにつながると良いなという思いをお聞きしながら思った。

☆ バリュー・アクションに関する意見をメールで提出してほしい。次回の資料としたい
☆ 発想の転換で、アクションも含めて、私たちが大切にしていける価値を見いだしていくという方向性もありなのだとすることを柔軟に考えつつ見いだして行けたらと思った。

質問

☆ バリューには「女性」というキーワード、女性に関するフレーズをいれる感じで考えていったら良いのか。

(幹事) なぜ女性連合かという存在意義にもかかってくると思う。女性ではなくジェンダーという言葉になるのか分からないが、メンバーシップを考える上で大切なことになるかなと思う。

(会長) ミッションを決める際に、「女性としての視点を活かしつつ」と言う言葉が残った。エンパワーメントの部分とジェンダーレスの部分の混在。自身が「女性」と括ってしまったときに、他者を排除しているという部分もあったり、女性という言葉だけをあげただけでは整理がつかない。色々な教会、信徒会がジェンダーレスと言う言葉を使いながら、わりと男性主導の中で信徒会活動においていっている事もあり、私たちが追いつかない部分もあったが、そこを細かく言及していくより、「すべてのいのち」と言うところで包括的に捉えられるだろうと、ミッション(案)は女性という言葉をあえて抜いた。この言葉をバリュー・アクションで現実的に言語化していくことが出来ればと言うところだが、やはりここには学びと共通の理解が必要。短い時間の中でそれぞれが考える中で、女性連合として「女性」と言う言葉をどうここに盛り込んでいくか、どの言葉を選び取っていくかと言うことになると思う。一緒に悩みましょう。

☆ ビジョン・ミッション・バリュー・アクションの流れの大切さを聴いてきた。アクション

ンを考えることは簡単なことです。でもアクションからバリューに上がるのではなく、バリューを考えてそこからアクションに降りてこないといけないということに固執していたが、そうでなくても良いという言葉に頭の固さを割られた感じがする。先ほどの「女性」という言葉をどこに入れるのか、ミッションをばらしていくとバリューになると書いてあったが、どこで女性がどの言葉からでるとよいのかと想っていた。多様性という事がバリューの中で出てきた。そこから女性というふうの流れていくと良いのかなと思った。

(幹事) ジェンダーのことも、自分たちの中にストーンとおちて認識していくこともとても大事でそこから本当に始まるかなと思う。誰もが本当に自分らしくのびのびとあるがままに生きられる社会と言うことが大事と思われた。「連盟(謝罪)表明」の中身を自分のものにして、何年か後、一緒にやっていけるまでの理想を埋めていくために、私たちは何を大切にしていけば良いのかを考えて行ければ良いと思う。

D.その他 (11:45~12:05)

・今後のミーティング日程&プロセスプラン

日程: スケジュールプラン (内容) オンライン&メールやりとり

1 10月5日(土) バリュー発散

2 11月2日(土) 10:00~12:00 or 13:00~15:00 (要調整)

バリュー 収束一決定 アクション アイデア発散

3 12月 アクション 収束一決定

1月~アクション具体検討/組織体制 実行委員 役員選挙 財政

・予定: オンライン議案説明・懇談会 10月19日(土) 10:00~15:00

連盟総会 10月26日(土)

11月8日 全国発送

12月9日 決議書 締め切り

12月12日 総会(決議書面開票)

お祈り(本多)